

2021 年 9 月 1 日

2021 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 自立援助ホーム マルコの家

代表者・役職名 氏名 指導員 柏倉 匡

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

新しいマットレスの購入

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

前施設長の小田が元々里親をしておりますその経験から、行き場が無く親の支えも無く社会に放り出される子ども達を何とか自立へと歩む手伝いが出来ないか、との想いで設立しました。
平成 22 年 7 月 1 日設立、賛助会員は 37 人(寄付者 208 人)です

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現在劣化したベッドマットレスを使っており、新しいものに交換することで清々しい思いを経験させてあげたい願いがあります。
一日の中で睡眠は大きい時間を占めており、睡眠の質を上げることで日々の疲れの改善や、朝の寝起きも良くなるのでは、と考えております。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

夏頃に入居者の部屋のベッドマットレスを新しいものに交換します。

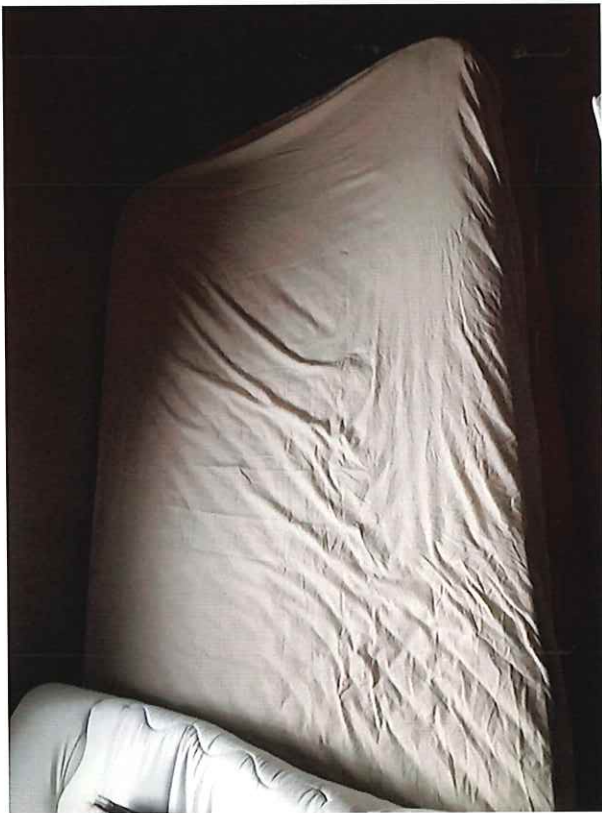
5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

マットレスが新しくなったことで入居者達から、「キレイになって気持ちがいい」「新しいから寝心地がいい」「中のコイルがしっかりしていて気持ちいい」との声が挙がっています。実際マットレスを交換したときに古いマットレスの汚れを見て、経年劣化による破損や汚れは 10 年間使用した歴史とは言え、相当なものでした。
良質な睡眠は 1 日の行動のパフォーマンスの向上も期待でき、日々の生活において前向きな気持ちになることも予想されますので、これからの彼ら彼女らの頑張りや疲れの癒しに繋がれば、と期待しています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

マットレス交換による副産物ではありますが、ベッドの下や隅にゴミが溜まっている部屋も少なからずありました。心身の健康を保つ上でも、定期的に部屋の掃除を促し、場合によっては職員と一緒にゴミやほこりが溜まりそうな場所を掃除することも必要かと感じました。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、「必ず」、別途、ご提供ください。



マットレス交換前と交換後の比較です。